

市民一人が納める税金の内訳



市民税
70,519円



固定資産税
63,351円



都市計画税
10,558円



軽自動車税
1,754円



たばこ税
6,036円



入湯税など
39円

合計
152,257円

活力ある産業に満ちた、にぎわいあふれるまちづくり

農地防災実施計画策定事業	450万円	彦根駅東土地区画整理事業	4億5,528万円
中小小売商業対策事業	894万6千円	彦根駅東土地区画整理関連事業	
インターネットビジネス環境整備支援事業			2億2,587万9千円
工場等設置奨励事業	2億3,164万3千円	デマンドタクシー試行事業	41万9千円
井伊直弼と開国150年祭事業	7,429万4千円	道路新設改良事業	2億4,049万3千円
JR 稲枝駅前広場等整備計画事業	400万円	都市計画道路整備事業	4億4,704万2千円

明日の彦根市を担う人を育(はぐく)むまちづくり

中学校各所整備改修事業	500万円	学校問題解決支援事業	195万円
中学3年生の普通教室に扇風機設置		公民館整備事業	2,583万円
中学校耐震診断事業	1,500万円	河瀬地区公民館エレベーター設置工事	
特別支援教育支援員配置事業	800万4千円	井伊家文書保存修理事業	401万8千円

人とひととの交流をひろげ、市民文化を創造するまちづくり

市指定文化財保存整備および維持管理事業	1,143万1千円	開国記念館展示事業	5,177万円
旧池田屋敷長屋門保存対策		彦根城維持管理事業	2億1,552万8千円

その他

次期総合発展計画等策定事業	1,000万4千円	上下水道料金徴収委託業務	5,911万9千円
行政文書管理事業	1,448万2千円		
彦根市広報ひこね等宅配(ポスティング)業務			

「市民一人に使うお金の内訳」と「市民一人が納める税金の内訳」の算出において、彦根市の人口は、111,367人(平成20年3月1日現在)で計算しています。

公的資金補償金免除繰上償還の実施について

彦根市では、道路や下水道の整備および公共施設の建設など、一度に多額の費用が必要な場合は、その負担を複数年度に振り分け、将来にわたる世代間の負担を公平にするために、市債を発行しています。市債は、金融機関から借りる場合もありますが、その多くは、国などの公的機関から借入れを行っています。こうした公的資金の繰上償還(予定より早く返済すること)をする場合には、補償金を支払うことが義務付けられていました。しかし、平成19年度から同21年度までの3年間に限り、財政の健全化を図ることを目的とした、繰上償還にかかる計画を策定することで、補償金免除の繰上償還ができるよう改められました。

彦根市では、この制度を利用し、高利率で借り入れていたものについて、平成19年度末に、市全体で合わせて、約4億9千万円を繰上償還し、下水道事業会計については、高利率のものから低利率のものへ借り換えを行いました。

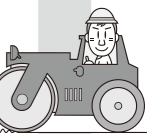
一般会計では、計画期間全体で約6億6千万円の繰上償還を行う予定をしています。この場合の利子負担軽減額は、約7千8百万円になる見込みです。

今後についても、新たな市債を抑制するとともに、可能な限り繰上償還を行い、公債費負担を軽減し、財政の健全化に努めていきます。

市民一人に使うお金の内訳



安心なまちづくりに
80,107円



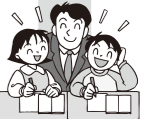
良好な環境整備に
46,544円



借金の返済や
利息の支払いに
44,119円



快適なまちづくりに
36,443円



明日の彦根を担う
人づくりなどに
33,908円



市税、戸籍、選挙
などの事務費に
33,574円

新規・主要事業とその予算額の概要

平成20年度の予算編成にあたっては、「財政の早期健全化」を重要な課題としつつ、彦根市総合発展計画の基本構想に位置づけている5つの柱に基づき、予算を編成しました。

主要な事業としては、次世代育成支援対策として、乳幼児の医療費の自己負担分を、10月以降無料にします。また、母体・胎児の健康保持を図るため、妊婦健康診査に対する補助を10回に拡大するなど、子どもを産み、育てやすい環境づくりに取り組めます。

また、災害に強いまちづくりとして、既存住宅の耐震改修に関する補助内容を充実するほか、近年、中高層建築物が増加していることから、火災防体制の向上を図るため、災害対応特殊はしご付消防自動車を更新整備します。

そのほか、産婦人科をはじめ、現在不足している医師・看護師の確保といった医療体制の整備や、支援の必要な児童生徒に対して、日常生活での介助などを提供する特別支援教育支援員の派遣を行います。

にぎわいあふれるまちづくりをめざして、日本を閉国に導いた井伊直弼を顕彰するとともに、日米修好通商条約締結150周年に焦点を当てた、「井伊直弼と開国150年祭事業」を開催します。また、公共交通機関の空白地域などに、「デマンドタクシー」を試行的に導入します。

今後、彦根市の財政状況は、さらに厳しくなると予想されます。「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく、健全化判断指標を視野に入れ、市民の皆さんにも、財政状況の厳しさを理解いただき、市民と行政が役割分担しながら、「選択と集中」を徹底して事業を推進する必要があります。

人権が尊重され、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり

福祉医療費助成事業	5億3,556万9千円	妊婦健康診断事業	2,974万6千円
乳幼児医療費の自己負担を10月以降無料化		妊婦健康診査補助の回数を10回に拡大	
放課後児童クラブ運営事業	1億350万1千円	予防接種事業	1億2,086万円
稲枝東小第2放課後児童クラブ室の新設		後期高齢者医療事業(広域連合への負担金)	
次世代育成支援行動計画策定事業	223万7千円	後期高齢者医療事業特別会計繰出金	1億1,340万5千円
保育所管理運営事業	4,368万2千円	特定健康診査等事業	3,252万7千円
ふたば保育園に体調不良児対応の看護師を配置		病院管理運営	3億8,379万4千円
障害者自立支援対策臨時特例交付金事業	2,836万円	医師・看護師緊急確保対策事業	
		産婦人科医師確保緊急対策事業	

良好な環境が整った、快適で安全・安心なまちづくり

ごみ減量・資源化推進啓発事業	227万2千円	水道施設第5次拡張事業	3億8,003万7千円
3R*推進プロジェクト事業		天王山配水池整備工事 など	
都市計画公園整備事業	9,923万4千円	防災体制整備事業	2,639万8千円
既存建築物耐震診断事業	439万1千円	ハザードマップ作成・印刷費	
既存住宅耐震リフォーム支援事業	90万2千円	急傾斜地崩壊対策事業	850万円
公共下水道事業	9億221万4千円	車両整備事業	1億7,000万円
		災害対応特殊はしご付消防自動車	

*3Rは、ごみのリデュース(Reduce=発生抑制)、リユース(Reuse=再使用)、リサイクル(Recycle=再資源化)の頭文字を取った言葉。

合計
301,027円



市議会の運営費に
2,572円



活力ある産業振興に
11,191円



安全なまちづくりに
12,569円